

NO.0003

平成 13 年
2月 10 日

一如会だより

発行者：駒澤大学高等学校一如会

〒158-8577 東京都世田谷区上用賀 1-17-12

TEL03-3700-6131 FAX03-3707-5689

前校長 和田實正先生の急逝を惜しむ

元国語科教諭 神谷 道倫

去る 1 月 10 日夜、突如もたらされた前校長和田實正先生の訃報は、まことに思いもかけない知らせであった。とりわけ旧臘 9 日、一如会の忘年会でお会いした私どもにとって、多少健康診断に関わるお話しを交わしはしたもの、事態がそれほど深刻とは全く思い及ばず、一瞬信じかねる驚きであった。

和田先生とは渋谷校舎時代の昭和 34 年、一年先輩の国語科教員としてお付き合いをして以来、私としては特に、校友会・教務・総務関係の仕事で、前任者として多くの示唆・恩恵をいただいた数々のことが忘れがたい。

先生の役職を振り返ってみると、前々校長の

羽住先生が教頭に就任された昭和 53 年度以降、教務部長・総務部長を経て昭和 61 年度より教頭に就任、平成 9 年度には校長に就任と、一貫して駒大高校の枢要の職にあったことは明白であるが、我々の実感としては、駒澤校舎に移った昭和 30 年代後半頃から、すでに入学式以下の学校行事・時間割の編成等々の教務関連の諸業務に携わり、練達の実務能力を發揮して校務に深く関わっていたように記憶する。思えば、先生こそ駒澤大学高校の発展とともにあつた人との感ひとしおである。

なお先生には、駒澤大空手道部 O B として後進の指導に当たられた一面もある。目一杯強靭に生き抜かれた一生と言つてよいだろう。

いまここに定年後 2 力年に満たずして難治の病により急逝された。静謐な世界で安らかにお眠りくださることをお祈りする。合掌。

役員会報告

I. 忘年会の反省

昨年 12 月 9 日(土)二子玉川の富士観会館において一如会の忘年会を開催しました。受益者全額負担の会費の残金は、一如会会計の雑収入へ繰入れる。気楽に、意見交換できる懇親会(忘年会)への参加者を増やすべく、開催場所及び出欠の取り方等について、今後更に一考を要す。

II. 『一如会だより』のネーミング

昨年 8 月創刊以来、会員に親しまれる会報としての適切な名前を模索しながら暫定的に『一如会だより』の名前で発行してまいりましたが、引き続いて『一如会だより』で発行することになりました。

III. 組織の整備

次頁の組織改定案について、総務・厚生・広報の部を創設することを確認する。改定に伴う会則改正案については詳細を 3 月末を目途に継続審議中。会員へ協力を呼びかけ新年度より速やかに新しい組織で活動できるよう努める。

IV. 一如会会計の概要

現状は次頁の「終身会費 3 万円の使途」の通りとなりますが、学校教育後援等に充てる安定した基金の確保を優先させていきたい。運営経費等の節減及び見直しを図り平成 13 年度予算案の策定に入る。

V. 役員改選

平成 13 年(2001 年)は役員改選の年にあたり、組織の改定、会則改正と共に早急に準備を進める。

VI. 発送作業の代替案

発送作業(宛名シールの作成・配布物の印刷・宛名シール貼り・配布物の封筒詰め・発送)に限界を感じるために、代替案(外部委託、アルバイト利用等)を引き続き検討中。

VII. 通信活動の見直し

1. 配布対象——現役 3 年父母へ配布(二学期頃より)
2. 回 数——年 1~4 回、タイムリーな時期に発行
3. 内 容——『一如会だより』を中心として『旗檀』配布は年 1 回に留める。

VIII. その他(総会までの日程)

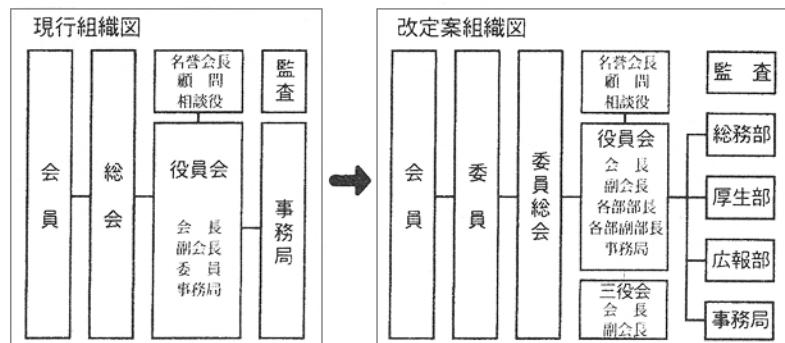
1. 平成 13 年度総会【5 月 26 日(土)】までの日程
役員会(議事・資料の検討)【2 月 24 日(土)14 時】
平成 12 年度の監査 【4 月 7 日(土)13 時】
役員会(議事・資料の決定)【4 月 7 日(土)14 時】
事務局(総会案内発送)【4 月 14 日(土)13 時】
2. 役員辞任の承認・報告
野沢 芳江さん(S44)・棚橋 栄吉さん(S54)・
片貝 淳子さん(H09)以上 3 名の役員辞任
3. 旗檀会との連携を、今後更に深める具体策を検討し実行していく。

本格的活動へ向けて組織の整備を検討中 各部の創設

改定の主旨

一如会の目的・組織・活動等をより広く浸透させていくために、組織を整備して役割分担を明確にし、運営を透明化していくかなくてはならない。

以上の主旨により、約一年間、模索してきた内容を具体化して、改定案を総会に提案できるよう役員会において、詳細検討中

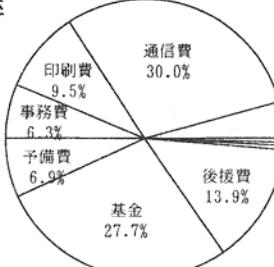


主な改定点	総務部 厚生部 広報部 事務局	事業計画、予算・決算の作成及び各会議の運営等本会の管理運営に関する活動。 会員の親睦を諂る行事等の企画・運営活動。 本会の活動状況等の広報活動。 会計及び名簿等の管理を主たる業務とする。
・ 総務・厚生・広報部の創設 ・ 総会を委員総会に変更 ・ 各会議の構成メンバー変更 ・ 従来の事務局の廃止		委員とは、各年度 10 数名とし、年 1 回委員総会に出席する。希望により各部に所属。

終身会費3万円の使途

会費を有効に活用するため
に、活動のあり方と連動して、
常に見直しを図りながら運営
しております。限られた収入の
中で、学校教育後援のための安
定した基金を確保するために
隨時検討を重ねていきます。

現在のところ、右記のような配分で終身会費は使われます。



項目	金額	備考
事務費	1,896	会の状況等を報告するための 通信活動費用
印刷費	2,844	(封筒はがき・印刷代・郵送料)
通信費	9,005	
会議費	1,250	
交通費	208	会の維持・運営に要する費用
手数料	21	
慶弔費	208	
後援費	4,167	学校教育活動後援費
基金	8,318	学校教育活動後援の基金
予備費	2,083	
合計	30,000	終身会費

ご丁寧なお便りいただきありがとうございます。一回会だよりの発送につきましては、タイミングを心掛けているつもりですが、なかなか実行が伴いません。今後はよりタイミングの一回会だよりとなるように努力して参ります。

役員をしていた頃、講演会の人選、永平寺研修旅行・役員会のあとのお土産、茶店でのおしゃべりとても楽しかったのを思い出します。お手伝いすることがあればといつも考えているのですが私の出来ることは限られてしまいます。何も出来ないからです。これからもよろしくお願ひします。少しですが切手を送ります。少なくて恥ずかしいですけど。

— 8 —

日時：平成 13 年 5 月 26 日(土)
場所：新宿 ホテル センチュリーハイアット
4 月中旬頃、ご案内します。
お気軽にご参加ください。

 会報等の郵便物が毎回
20通ほど、転居先不明で
配達不能となつてます。
住所変更等ありましたら、ご一報
ください。

事務局より

お知らせ

会員の声（言葉の輪）

前回の如く、前回の如く、一如云の右前変更の話題が役員会に出た旨されましたところ、舌足らずの記事であったためか、名前変更絶対反対という貴重なご意見の投書を頂きました。役員会の議題として扱ったことではありませんので、ご安心ください。会員のみなさまがこの『一回会だより』に関心を持ち隅々まで読んで頂いていることを非常に嬉しく思います。今後とも、会員のみなさまの率直な建設的なご意見を、隨時お待ちしております。会員さんの近況、子どもの成長、自慢話、世評、随筆等何でも結構です。会員同士の情報交換、交流の場として利用して頂ければ幸いです。

匿名希望の場合でも、差出人の明記が無ければ
取扱いかねますのでよろしくお願ひします。 事務局長 紅木